

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2022年6月

エフエム八ヶ岳 6月の番組審議会の議題は、新番組「アートカフェ・ブルーテラス」（土曜午前11時放送：再放送あり）です。3年間続いてきた番組「アートカフェ@ラジオ」の拡張版。MC役は山梨学院短大教授の伊藤美輝さんで、絵画を中心とした内容に音楽も加えて、より豊かにヴァージョン・アップ、15分から30分の放送時間になりました。4月2日、9日の放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- 全体的に良質な番組で、休日に聞くのにふさわしいと思う。以前の絵画だけの話より音楽の話題が入って全体としてバランスが良くなり、聞きやすくなった。
- 伊藤美輝さんをはじめ番組内の「カフェ」にいる人たちの会話が楽しそうで、自然な感じでよかった。ただ、聞き方によってはリスナーそっちのけで、楽しんでいるようにも感じられるのかもしれない。
- とても興味深く楽しく聞くことができた。モネの「散歩 日傘をさす女」についての伊藤先生の話は、見えない絵にも想像力をかき立てられ、ラジオの醍醐味のようなものを感じた。
- 絵画をテレビでなくラジオで伝えるということは、とても難しいと思うが、「オレンジがかかった夏の空」「ドレスのはためきが風を感じる」「夏の香り」といった表現がとてもすてきで、聞き手の想像力をかき立ててくれるように感じた。
- 新しく始まった音楽も「みしなさち」さんの透明感のある美しい声が素晴らしく、心に響いた。これからの楽しみだ。
- モネの作品から、箱根の「ポーラ美術館」の説明もあり、是非一度足を運んでみたいと思った。
- 3人が同時に話をする場面もあり、リスナーはよく聞き取れなかったのではないだろうか。
- 毎回、出演者の紹介があった方がよいと思う。また、「カフェ」を意識しての演出なのかどうかは分からないが、カップとソーサーがぶつかるような音がよく聞こえ、非常に気になった。
- 前半の話は、絵画の話からもう少し生活感のある話、例えば、食の話、趣味の話、風物の話などに話題を広げてもらえると、より親しめると思う。
- 楽しそうな企画なので、番組のタイトルにふさわしい、ますますリスナーに愛され、充実した番組になることを祈念している。